

令和2年度 川内中学校総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
		評価指数と活動計画	評価	総合評定		
1 学力向上と進路指導の充実	(全校レベル) ①学習規律の徹底 ②分かりやすい授業の工夫 ③授業改善 ④キャリア教育の充実 (下位組織レベル) ①学力向上実行プラン [学力向上推進委員会] ②徳島型メンター制度の活用 [タートルズ研修]	評価指数 ①-1 生徒「チャイム着席ができています」 ①-2 生徒「提出物が確実にできる」 ②-1 教師「授業のめあてを示し、振り返りの時間を確保している」 ②-2 生徒「先生はよく分かる授業を実践している」 ③-1 生徒「授業内容の理解が十分である」 ③-2 教師「学習の遅れがちな生徒に適切な支援をしている」 ③-3 教師「生徒は学習に意欲的に取り組んでいる」 ③-4 生徒「課題を理解し、意欲的に学習に取り組んでいる」 ③-5 保護者「学校は学力向上に向けて熱心に取り組んでいる」 ④-1 生徒「家庭学習の習慣が身に付いている」 ④-2 保護者「お子さんは家庭学習の習慣が身に付いている」 ④-3 生徒「読書をしている」 ④-4 生徒「将来の夢があり、目標をもって生活できている」 ④-5 保護者「お子さんと進路や将来のことについて話をしている」	評価指数の達成度 ①-1 A (92%) ①-2 A (84%) ②-1 B (81%) ②-2 A (94%) ③-1 B (83%) ③-2 B (74%) ③-3 B (71%) ③-4 B (77%) ③-5 B (81%) ④-1 B (77%) ④-2 C (59%) ④-3 C (52%) ④-4 C (64%) ④-5 B (81%)	総合評定 (評定) B (所見) 基礎学力の定着に向けた取組は評価できる。教師相互の参観授業や研究授業は教師、生徒により刺激となった。1, 2年生では学ぶ意義や進路を考える機会が十分とはいえない。	・学習規律の確立や分かる授業に取り組み、成果がでていることはよい。家庭学習や読書等が十分でないのはスマホ等の使用が関係しているのではないかと思う。 ・基礎学力の徹底指導は大切だと考える。学習が楽しいか嫌いかの判断にもつながってくる。タブレット導入によりますます学力格差がでてくるのではと思う。 ・教員の自己評価にある「学習が遅れがちな生徒に適切な指導をしているか」、「意欲の高い生徒に発展的な指導をしているか」が課題である。保護者記述アンケートの「答えを導き出すまでの解説が少ない」、「授業に不満がある子が少なからずいる」という意見が課題である。	
		活動計画 ①「川中ハンドブック」を活用して、学習規律の確立を徹底する。 ②「分かる授業」のために、目標を明示、課題解決の学習活動、振り返りの時間を確保する。ICTの活用等、授業改善をする。 ③学力向上のために、オープンクラスウィークを設定し相互の参観授業を実施する。フレッシュ研修Ⅱ・ミドルリーダー研修で研究授業を実施し、授業力を高める。 ④メンター制研修を計画的に実施し、OJTによる主体的な研修とする。	活動計画の実施状況 学年の学習目標を掲示し可視化することで学習規律は整った。1, 2学期にオープンクラスウィークを実施し、授業後の感想を共有した。			
2 豊かな心の育成	①不当な差別やいじめを許さない人権意識の育成 ②言葉を大切にす態度の育成	評価指標 ①-1 教師「発達段階や生活背景を理解し、人権教育の推進に努めている」 ①-2 教師「差別や偏見・いじめいじめのない集団づくりに努めている」 ①-3 生徒「いじめや暴力を許さない」 ①-4 保護者「学校はいじめや暴力のない学校づくりに努めている」 ②-1 教師「生徒は周囲の人に優しく、人を傷つけるような言動が見られない」 ②-2 生徒「人を傷つけるような言動がなく、周りの人に優しく接している」	評価指数の達成度 ①-1 A (93%) ①-2 A (96%) ①-3 B (80%) ①-4 B (84%) ②-1 C (58%) ②-2 A (88%)	総合評定 (評定) B (所見) 人権意識の向上のために、人権委員会や生徒会活動を活性化していきたい。	・生徒同士が仲よく生活していることが感じられる。人権意識は高まってきているように思うが、日常生活の言動につながるような指導の工夫が必要であると感じる。 ・生徒の生活様式がパソコン、ゲーム等の普及により大きく変わってきている。集団より個人(自分)と思う子供が増えてきていると思う。人権教育はいかなる場においても大切だと思う。	
		活動計画 ①実態調査等を通じて生徒の状況をよく観察し、いじめや不当な差別を許さない学校・学級づくりを行い、未然防止、早期発見に努め、兆候があれば迅速に組織として対応する。 ②道徳教育、人権教育の充実を図る。	活動計画の実施状況 学校生活アンケートを2回実施し、生徒の状況把握に努めた。学年人権集会や人権学習を通して、人権意識の育成に努めた。			
3 生徒理解・生徒指導の徹底	①一人一人のよさや能力を引き伸ばす指導 ②保護者・関係機関との連携 ③トラブルにつながる携帯電話等の指導	評価指標 ①-1 教師「一人一人の生徒理解に努めている」 ①-2 生徒「先生は相談したら誠実に対応してくれる」 ②-1 教師「保護者と連携し、生徒の成長を支援している」 ③-1 生徒「パソコン、携帯電話等を学習以外に1日に2時間以上使用している」 ③-2 保護者「家庭では、パソコンや携帯電話の使い方のルールを決めて取り組んでいる」	評価指数の達成度 ①-1 A (93%) ①-2 A (93%) ②-1 A (96%) ③-1 B (77%) ③-2 C (67%)	総合評定 (評定) B (所見) 自己有用感や自尊感情がもてる指導が必要である。パソコンや携帯電話の使い方を家庭と連携をし、指導が必要である。	・スマホ等の利用について生徒・保護者のより一層の理解を深める必要があると思う。スマホ等の利用が人権感覚や生活習慣等いろいろなことに影響していると思われる。 ・ICT化の中で生徒が将来において人間関係をうまく築いていける力が必要であると思う。 ・先生と生徒間の信頼関係が大切だと考えている。	
		活動計画 ①生徒指導委員会、教育支援委員会を通して、複数の教職員で見守る体制を構築し、支援を必要とする生徒の把握や情報の共有化を図る。 ②SNS等の誹謗中傷がないよう、携帯安全教室を実施する。保護者や関係機関と連携し、生徒の健全育成を図る。	活動計画の実施状況 生徒指導委員会を定期的に開催し、不登校、問題行動等のある生徒について共通理解した。携帯電話のトラブルは継続的に指導した。			

<p>4 安全・健康に関する教育の推進</p>	<p>①安全・安心な学校生活 ②交通マナーの向上 ③新型コロナウイルス感染予防対策</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 生徒「学校へ行くのが楽しい」 ②-1 教師「生徒は交通ルールをよく守り、自他の安全を心がけている」 ②-2 生徒「交通ルールを守って登下校している」 ②-3 保護者「学校は規則遵守について適切な指導を継続している」 ③-1 教師「コロナ感染予防に対する教室環境、特別教室など環境整備に向けて手立てはできた」 ③-2 生徒「新型コロナウイルス感染防止を心がけて、学校生活を送っている」 ③-3 保護者「学校は新型コロナウイルス感染予防に向けて適切な対応ができています」</p> <p>活動計画</p> <p>①生徒会による「自転車運転免許制度」を活用し、交通マナーの向上に努める。 ②新型コロナウイルス感染予防に向けて、学校生活、学校行事を工夫する。</p>	<p>評価指数の達成度</p> <p>①-1 A (85%) ②-1 C (61%) ②-2 A (97%) ②-3 A (91%) ③-1 A (94%) ③-2 A (92%) ③-3 A (92%)</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>毎日、登下校の交通立哨をしたことで生徒の規範意識の向上や事故の未然防止につながった。コロナ対策はマニュアルを作成する等共通理解のもと取り組んだ。</p>	<p>(評定) B</p> <p>(所見) 交通ルールやマナーの遵守のさらなる徹底が必要である。 新型コロナウイルス感染予防を継続していく。</p>	<p>・交通マナーは向上してきていると思う。生徒が自分自身でよりよい安全(自分の命を守る)について考え、適切に行動できるよう指導を続けていくことが大切だと思う。 ・JNKは素晴らしい取り組みである。その成果はでてきていると感じる。ルールを守ることの大切さを更に伝える必要がある。</p>	<p>・生徒会による「川中スマホルール」 ・交通安全教室や交通ルールやマナーの講習会の充実 ・川中JNKのスムーズな推進 ・立哨、見守り、交通指導等の常時指導継続 ・防災教育の充実、防災クラブの活動再開</p>
<p>5 基本的な生活習慣の定着</p>	<p>①あいさつの励行 ②礼儀正しい態度と規範意識の育成 ③規則正しい生活を送る態度</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 教師「生徒は気持ちのよいあいさつができる」 ①-2 生徒「きちんとあいさつをしている」 ②-1 教師「礼儀や言葉遣い、エチケットやマナーの指導を心がけている」 ②-2 生徒「集団生活のルールや校則を守って生活をしている」 ②-3 生徒「先生は校則やマナー違反に適切に指導している」 ③-1 保護者「お子さんは、毎日朝食を食べている」 ③-2 生徒「睡眠不足を感じる事が多い」</p> <p>活動計画</p> <p>①全教職員が共通理解し、あいさつや校則の遵守等継続的に指導する。 ②委員会活動や部活動を通して、礼儀や規則正しい生活を送れるよう指導する。</p>	<p>評価指数の達成度</p> <p>①-1 B (71%) ①-2 A (91%) ②-1 A (87%) ②-2 A (96%) ②-3 A (95%) ③-1 A (91%) ③-2 C (53%)</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>生徒会や委員会活動に積極的に取り組めなかった。時間の効率的な使い方を指導できなかった。</p>	<p>(評定) B</p> <p>(所見) 全教職員で重点的に取り組む内容を共有化して指導する必要がある。</p>	<p>・基本的な生活習慣の定着は1日の活動を左右する重要なものである。推奨してほしい。 ・睡眠不足を感じている生徒が多いようだが、スマホやゲームが関係しているのではないかと思う。 ・家庭との連携(協力)が何より大切と考える。朝食の摂取率が高いことに感謝である。</p>	<p>・手本は教職員から・・・ ・生徒の模範になる言動 ・あいさつ運動、生徒会他 ・早寝早起き朝ご飯の励行、委員会活動 ・清掃指導、給食指導の工夫と徹底 ・家庭との連携</p>
<p>6 部活動の充実</p>	<p>①主体性・個性尊重した取組 ②教員全身体制での指導</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 教師「生徒は部活動に意欲的に参加している」 ①-2 生徒「部活動に熱心に参加している」 ②-1 教師「他の担当職員と協力・相談して、組織的に部活動指導に取り組んでいる」 ②-2 保護者「学校は部活動の指導や運営が適切である」</p> <p>活動計画</p> <p>①適正な部活動指導を組織的に実施できるよう部活動顧問会を計画的に実施する。 ②適切な休養を設け、効率的・計画的な部活動の運営により、生徒の心身を鍛え、育てる。</p>	<p>評価指数の達成度</p> <p>①-1 A (100%) ①-2 A (95%) ①-3 A (89%) ①-4 B (84%)</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>コロナ感染予防しながら部活動を実施できた。ノー部活デーを校内で設定し、心身の休養を図った。</p>	<p>(評定) B</p> <p>(所見) 部活動の規律やあいさつの奨励が学校全体により効果をもたらせるよう運営していく。</p>	<p>・部活動に生徒たちが熱心に取り組んでいる様子が見られる。学校外で行っている部活動では近くを通ったり、部活帰りにすれ違ったときにあいさつをしてくれて気持ちがよい。 ・コロナの影響で部活動にも支障が出ていると考え、生徒には部活動に入って欲しい。</p>	<p>・教員の働き方も考慮し、効率的で適正な部活動指導の充実 ・部活動間での共通理解と礼儀指導</p>
<p>7 開かれた学校づくり</p>	<p>①保護者との信頼関係の構築 ②家庭・地域への情報提供</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 教師「保護者からの連絡や相談、面談に迅速かつ適切に対応している」 ①-2 保護者「学校は、保護者からの連絡や相談、面談に誠実かつ適切に対応している」 ②-1 保護者「学校は情報提供(お便り、マチコミ)が適切である」 ②-2 保護者「学校は家庭への連絡やPTA、地域との連携ができています」</p> <p>活動計画</p> <p>①欠席連絡や相談等を通して保護者と連携し、信頼関係を構築する。 ②学年だより、HPを充実し、必要な情報を保護者・地域の方に伝える。</p>	<p>評価指数の達成度</p> <p>①-1 A (100%) ①-2 A (91%) ②-1 A (90%) ②-2 A (88%)</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>マチコミメール等活用し、必要な情報を発信できた。</p>	<p>(評定) A</p> <p>(所見) さらに家庭、地域、関係機関と連携していきたい。</p>	<p>・保護者と信頼関係ができてきているのがよいと思う。新型コロナの影響で面談やPTA活動で気を遣うことが多かったと思うがコロナが完全に終息することは難しいと思うので工夫しながら活動をしななければならないと思う。 ・子供の成長には家庭、地域との連携は大切だと思う。withコロナこれからの課題だと思う。</p>	<p>・地域、保護者への適切で丁寧な情報発信 ・スクールカウンセラー、児童相談所、生活安全課、日本語指導講師等関係機関との連携 ・コロナ禍におけるPTA活動を改善し、さらなる充実</p>